

事業所名

放課後等デイサービスKIWI

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

1日

法人（事業所）理念		「共に学び、共に考え、共に成長し、共に笑う」 ONE TEAM					
支援方針		支援学校や支援学級のお子さんが、同世代や異年齢の仲間、大人と関わる中で、共に学び、共に考え、共に成長し、共に笑い、一つのチームとしてみんなが共育(互いに双方向に理解して互いに育つ)する施設を目指しております。					
営業時間		10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	①健康生活の維持・改善：来所時の検温や手洗い。連携している小児科と看護職員による健康観察のチェック。臨床心理士や公認心理師によるカウンセリングでの状態確認。 ②生活リズムや生活習慣の形成：着替え、排泄、片付け、水分補給、食事・おやつへの誘導と援助等の実施。必要に合わせ、個々でトレーニングを実施。 ③基本的な生活スキルの獲得：ADLの向上や身辺整理を日々の生活の中で支援。児童に合わせた構造化、環境設定を実施。					
	運動・感覚	①姿勢と運動・動作の向上：公園遊びや室内でのサーキット(粗大運動・微細運動)を通して場面に適した姿勢や運動をできるように支援。 ②姿勢と運動・動作の補助手段の活用：個々がより良い姿勢で活動を行えるよう、机や椅子を配置。また、必要に応じてベッドや座位保持椅子を使用。 ③保有する感覚の総合的な活用：運動遊びや個別での課題を、感覚統合遊びを取り入れて提供。					
	認知・行動	①認知の発達と行動の習得：集団活動や製作活動の中で5感を刺激し、認知機能の発達を促す支援。 ②空間・時間・数等の概念形成の習得：個々の発達に応じて、積み木やブロックの立体物、時計や数字の課題を提示。 ③対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得：当日のスケジュールの見える化と、説明を実施して見通しの提示。					
	言語コミュニケーション	①言語の形成と活用：絵本の読み聞かせや、文字遊びを含んだレクリエーションの中で言葉に触れる場を提供。それぞれのコミュニケーションツールを活用し、職員に要求等ができる関係性の構築。 ②言語の受容及び表出：始まりの会や帰りの活動を通して、言語を表出する機会を設定。 ③コミュニケーションの基礎的能力の向上：小学1年生～高校3年生の異年齢の児童同士がグループ活動の中で交流する機会の設定。必要に応じてマンツーマンでのやり取りの実施。 ④コミュニケーション手段の選択と活用：意思伝達がしやすいように、指差し、絵カード、ジェスチャー等を活用しての支援。					
	人間関係社会性	①他者との関わり(人間関係)の形成：適した距離で児童同士が過ごせるよう、適宜声掛けや、関係形成を間に入り支援。 ②自己の理解と行動の調整：やったことがないことを活動を通して経験してもらい、成功体験を積む。出来ることは更に伸ばせるようにサポートや支援。 ③仲間づくりと集団への参加：集団活動を通してルールの理解や、児童同士がコミュニケーションを取れる機会を支援。地域の公共施設や公園に出向き、その場所のルールやマナーを身に付け、社会性の育成。					
家族支援		・子育てや困りごとへの相談援助 ・臨床心理士・公認心理師によるカウンセリング ・兄弟での受け入れを実施			移行支援		・学校や関係機関との連携 ・今後の切り替えを見据え、移行に向けた準備
地域支援・地域連携		・地域の公共施設や公園を利用し、地域住民の方との交流 ・相談支援事業所との連携 ・小児科との連携 ・児童心理を専門とする大学教授との連携			職員の質の向上		・内部研修と勉強会の実施 ・外部研修への参加
主な行事等		イベント：クリスマス会、初詣、節分、お花見、ハロウィン、七夕等 お出かけ：長期休暇や祝日に実施					